

Ⅱ 調査結果の概要

1 人口の動向

(1) 総人口

本県の人口は、平成 23 年中に 14,444 人減少し、平成 24 年 1 月 1 日現在で 2,954,126 人となった。人口増減率は $\Delta 0.49\%$ となっている。

人口増減の内訳は、自然動態で 6,453 人の減少（増減率 $\Delta 0.22\%$ ）、社会動態で 7,991 人の減少（同 $\Delta 0.27\%$ ）である。

男女別人口の内訳を見ると、男が 6,613 人の減少（増減率 $\Delta 0.45\%$ ）、女が 7,831 人の減少（同 $\Delta 0.53\%$ ）であり、この結果、平成 24 年 1 月 1 日現在で男 1,472,415 人、女 1,481,711 人となっている。（統計表第 4 表）

(2) 性比及び人口密度

平成 23 年 10 月 1 日現在の性比は 99.4 であり、前年同月を 0.1 ポイント上回った。

また、平成 23 年 10 月 1 日現在の人口密度は 485.1 人/ k m^2 であり、前年同月を 2.1 ポイント下回った。（統計表第 1 表）

(3) 地域別人口

市部及び郡部別に見た平成 23 年中の人口増減は、市部が 11,976 人の減少（増減率 $\Delta 0.45\%$ ）、郡部が 2,468 人の減少（同 $\Delta 0.87\%$ ）であった。この結果、平成 24 年 1 月 1 日現在の人口は市部が 2,674,077 人、郡部が 280,049 人となっており、県人口に占める割合は市部が 90.5%、郡部が 9.5%となっている。

次に、県内 5 地域別の人口増減を見ると、県北地域が 4,718 人の減少（増減率 $\Delta 0.74\%$ ）、県央地域が 1,829 人の減少（同 $\Delta 0.39\%$ ）、鹿行地域が 2,005 人の減少（同 $\Delta 0.72\%$ ）、県南地域が 1,394 人の減少（同 $\Delta 0.14\%$ ）、県西地域が 4,498 人の減少（同 $\Delta 0.78\%$ ）であった。この結果、各地域の県人口に占める割合は平成 24 年 1 月 1 日現在で県北地域が 21.5%（635,942 人）、県央地域が 16.0%（472,956 人）、鹿行地域が 9.4%（276,999 人）、県南地域が 33.8%（999,211 人）、県西地域が 19.3%（569,018 人）となっている。（統計表第 4 表）

(4) 市町村別人口

市町村別の人口増減を見ると、6 市 1 村で増加、26 市 11 町村で減少であった。最も増加数の多い市町村はつくば市（1,180 人）であり、以下、つくばみらい市（708 人）、牛久市（644 人）、鹿嶋市（449 人）、守谷市（379 人）の順となっている。

一方、最も減少数の多い市町村は日立市（ $\Delta 1,577$ 人）であり、以下、取手市（ $\Delta 1,024$ 人）、筑西市（ $\Delta 985$ 人）、常陸太田市（ $\Delta 895$ 人）、石岡市（ $\Delta 820$ 人）の順となっている。

人口増減率を見ると、最も増加率の高い市町村はつくばみらい市（1.59%）であり、以下、東海村（1.01%）、牛久市（0.79%）、鹿嶋市（0.68%）、守谷市（0.61%）の順となっている。

逆に最も減少率の高い市町村は大洗町（ $\Delta 2.59\%$ ）であり、以下、大子町（ $\Delta 2.06\%$ ）、行方市（ $\Delta 1.97\%$ ）、河内町（ $\Delta 1.71\%$ ）、北茨城市（ $\Delta 1.70\%$ ）の順となっている。（表 - 1）

表-1 市町村別人口増減数と人口増減率順位(平成23年)

人口増減数

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減数	市町村名	人口増減数
1	つくば市	1,180	日立市	△ 1,577
2	つくばみらい市	708	取手市	△ 1,024
3	牛久市	644	筑西市	△ 985
4	鹿嶋市	449	常陸太田市	△ 895
5	守谷市	379	石岡市	△ 820
6	東海村	377	北茨城市	△ 796
7	水戸市	231	稲敷市	△ 791
8	阿見町	△ 36	行方市	△ 739
9	五霞町	△ 125	常総市	△ 719
10	小美玉市	△ 163	鉾田市	△ 712

人口増減率

順位	上位10市町村		下位10市町村	
	市町村名	人口増減率 (%)	市町村名	人口増減率 (%)
1	つくばみらい市	1.59	大洗町	△ 2.59
2	東海村	1.01	大子町	△ 2.06
3	牛久市	0.79	行方市	△ 1.97
4	鹿嶋市	0.68	河内町	△ 1.71
5	守谷市	0.61	北茨城市	△ 1.70
6	つくば市	0.55	稲敷市	△ 1.69
7	水戸市	0.09	常陸太田市	△ 1.59
8	阿見町	△ 0.08	美浦村	△ 1.53
9	ひたちなか市	△ 0.14	鉾田市	△ 1.42
10	土浦市	△ 0.16	茨城市	△ 1.38

また、市町村の人口規模を見ると、平成24年1月1日現在で20万人以上が2市（水戸市、つくば市）10万人以上20万人未満が6市（日立市、ひたちなか市、土浦市、古河市、取手市、筑西市）である。以上8市の合計は1,335,381人であり、県人口の約45%を占めている。郡部では3万人以上5万人未満の町村が3町村、2万人以上3万人未満の町村が3町、1万人以上2万人未満の町村が4町村、0.5万以上1万未満が2町となっている。（表-2）

表-2 人口規模別市町村数の推移（平成2年～平成24年）

各年1月1日現在 人口（人）	平成																							
	2 (年)	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
総 数	88	88	88	87	87	86	85	85	85	85	85	85	84	83	83	75	50	44	44	44	44	44	44	44
市 計	20	20	20	20	20	19	20	20	20	20	20	20	21	22	22	23	30	32	32	32	32	32	32	32
20万以上	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
10万以上20万未満	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	6	6	6	6	6	6
7.5万以上10万未満	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5
5万以上7.5万未満	6	7	7	7	7	6	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9	9	9	8
3万以上5万未満	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	10	10	10	10	10	11
3万未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
郡 計	68	68	68	67	67	67	65	65	65	65	65	65	63	61	61	52	20	12	12	12	12	12	12	12
5万以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
3万以上5万未満	12	12	12	13	13	13	12	12	12	12	12	11	11	10	10	10	4	3	3	3	3	3	3	3
2万以上3万未満	16	16	16	15	15	15	16	15	15	15	15	14	12	11	11	10	6	4	4	4	4	4	4	3
1万以上2万未満	23	23	24	23	24	20	22	23	23	23	23	24	25	25	25	22	7	4	4	4	4	4	4	4
0.5万以上1万未満	15	14	13	12	11	14	10	10	10	10	10	10	9	9	9	8	3	1	1	1	1	1	1	2
0.5万未満	2	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-

2 自然動態

(1) 自然増減

平成 23 年中の自然動態は、出生 23,535 人、死亡 29,988 人で 6,453 人の減少となった。自然増減率は△0.22%となっている。

5 地域別の自然増減率を見ると、県南地域が△0.05%と最も高く、以下、県央地域△0.23%、鹿行地域△0.24%、県西地域△0.33%、県北地域△0.35%の順となっている。

市町村別の自然増減率については、守谷市が 0.49%と最も高く、以下、つくば市 (0.30%)、東海村 (0.28%)、牛久市 (0.13%)、神栖市 (0.12%) の順となっている。(統計表第 6 表及び表 - 3)

(2) 出生

平成 23 年中の出生者数は 23,535 人 (男 12,233 人、女 11,302 人)、出生率は 7.9‰であった。

5 地域別の出生率を見ると、県南地域が 8.3‰と最も高く、以下、県央地域 (8.1‰)、鹿行地域 (8.1‰)、県西地域 (7.6‰)、県北地域 (7.4‰) の順となっている。

市町村別の出生率を見ると、守谷市が 11.0‰と最も高く、以下、東海村 (10.5‰)、つくば市 (10.3‰)、神栖市 (9.9‰)、つくばみらい市 (9.8‰) の順となっている。(表 - 3)

(3) 死亡

平成 23 年中の死亡者数は 29,988 人 (男 16,026 人、女 13,962 人)、死亡率は 10.1‰であった。

5 地域別の死亡率を見ると、県北地域が 10.9‰と最も高く、以下、県西地域 (10.9‰)、鹿行地域 (10.5‰)、県央地域 (10.5‰)、県南地域 (8.9‰) の順となっている。

市町村別の死亡率を見ると、大子町が 16.8‰と最も高く、以下、常陸大宮市 (15.4‰)、常陸太田市 (14.6‰)、行方市 (14.6‰)、大洗町 (14.0‰) の順となっている。(表 - 3)

表-3 自然増減、出生率及び死亡率順位(平成23年)

(自然増減率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	自然増減率(%)	市町村名	自然増減率(%)
1	守谷市	0.49	大子町	△ 1.22
2	つくば市	0.30	常陸太田市	△ 1.06
3	東海村	0.28	河内町	△ 0.89
4	牛久市	0.13	行方市	△ 0.88
5	神栖市	0.12	稲敷市	△ 0.84

(出生率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	出生率(‰)	市町村名	出生率(‰)
1	守谷市	11.0	常陸太田市	4.0
2	東海村	10.5	河内町	4.0
3	つくば市	10.3	利根町	4.3
4	神栖市	9.9	大子町	4.7
5	つくばみらい市	9.8	城里町	5.4

(死亡率)

順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	死亡率(‰)	市町村名	死亡率(‰)
1	大子町	16.8	守谷市	6.1
2	常陸大宮市	15.4	つくば市	7.2
3	常陸太田市	14.6	龍ヶ崎市	7.4
4	行方市	14.6	東海村	7.6
5	大洗町	14.0	牛久市	7.8

3 社会動態

(1) 社会増減

平成 23 年中の社会動態は、転入者数 112,567 人、転出者数 120,558 人で 7,991 人の転出超過となった。社会増減率は $\Delta 0.27\%$ となっている。

市部及び郡部別に見ると、市部で 6,815 人の転出超過、郡部で 1,176 人の転出超過となった。5 地域別では、県北地域が 2,449 人の転出超過、県央地域が 724 人の転出超過、鹿行地域が 1,341 人の転出超過、県南地域が 867 人の転出超過、県西地域が 2,610 人の転出超過となった。

市町村別では、転入超過が 7 市 2 町村、転出超過が 25 市 10 町村となっている。転入超過の割合が最も高い市町村はつくばみらい市（社会増減率 1.53%）であり、以下、東海村（同 0.72%）、鹿嶋市（同 0.69%）、牛久市（同 0.65%）、つくば市（同 0.25%）の順となっている。

逆に転出超過の割合が最も高い市町村は大洗町（社会増減率 $\Delta 1.79\%$ ）であり、以下、美浦村（同 $\Delta 1.15\%$ ）、行方市（同 $\Delta 1.09\%$ ）、北茨城市（同 $\Delta 0.97\%$ ）、の順となっている。（統計表第 8 表及び表 - 4）

(2) 移動数

平成 23 年中の移動数は 233,125 人、移動率は 7.85%であった。

また、県内市町村間の移動状況を見ると、転入者数 49,282 人、転出者数 49,382 人であった。

一方、県外間の移動状況を見ると、転入者数 61,308 人、転出者数 69,395 人であった。

市町村別の移動率を見ると、つくば市が 13.30%と最も高く、以下、守谷市 (10.06%)、土浦市 (9.92%)、牛久市 (9.91%)、つくばみらい市 (9.68%) の順となっている。(統計表第 8 表及び表 - 4)

表-4 社会増減率及び移動率順位(平成23年)

社会増減率					移動率				
順位	上位5市町村		下位5市町村		順位	上位5市町村		下位5市町村	
	市町村名	社会増減率(%)	市町村名	社会増減率(%)		市町村名	移動率(%)	市町村名	移動率(%)
1	つくばみらい市	1.53	大洗町	△ 1.79	1	つくば市	13.30	大子町	4.01
2	東海村	0.72	美浦村	△ 1.15	2	守谷市	10.06	桜川市	4.34
3	鹿嶋市	0.69	行方市	△ 1.09	3	土浦市	9.92	常陸太田市	4.44
4	牛久市	0.65	北茨城市	△ 0.97	4	牛久市	9.91	城里町	4.45
5	つくば市	0.25	潮来市	△ 0.96	5	つくばみらい市	9.68	常陸大宮市	4.84

(3) 地域間移動

平成 23 年中の地域間移動数について、県内は 5 地域間、県外は近隣都県別で見ると、県内・県外いずれにおいても県南地域の移動数が最も多くなっている。

県内間移動を見ると、県南地域では他の4地域に対してすべて転入超過であった。

県外間移動を見ると、近隣都県への転出超過数は東京都が2,440人で最も多く、以下、神奈川県(1,243人)、千葉県(886人)、埼玉県(689人)、栃木県(451人)、群馬県(250人)の順となっている。5地域別に見ると、5地域すべて転出超過であった。(表-5)

表-5 県内及び県外(近隣都県)別地域間移動数及び超過数(平成23年)

地 域	茨城県		県北地域		県央地域		鹿行地域		県南地域		県西地域			
	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)	移動数(人)	構成比(%)		
全体	転入計	110,590	100.0	17,876	100.0	17,194	100.0	10,357	100.0	47,671	100.0	17,492	100.0	
	転出計	118,777	100.0	20,431	100.0	17,787	100.0	11,708	100.0	48,665	100.0	20,186	100.0	
	超過数	△ 8,187	-	△ 2,555	-	△ 593	-	△ 1,351	-	△ 994	-	△ 2,694	-	
県内	転入者数	県内計	49,282	44.6	9,678	54.1	9,252	53.8	3,641	35.2	19,887	41.7	6,824	39.0
		県北地域	10,911	9.9	5,806	32.5	3,140	18.3	300	2.9	1,376	2.9	289	1.7
		県央地域	8,660	7.8	2,414	13.5	2,860	16.6	610	5.9	2,246	4.7	530	3.0
		鹿行地域	3,968	3.6	267	1.5	753	4.4	2,019	19.5	785	1.6	144	0.8
		県南地域	18,442	16.7	899	5.0	1,942	11.3	580	5.6	13,260	27.8	1,761	10.1
		県西地域	7,301	6.6	292	1.6	557	3.2	132	1.3	2,220	4.7	4,100	23.4
	転出者数	県内計	49,382	41.6	10,999	53.8	8,616	48.4	3,974	33.9	18,452	37.9	7,341	36.4
		県北地域	9,686	8.2	5,844	28.6	2,368	13.3	265	2.3	914	1.9	295	1.5
		県央地域	9,335	7.9	3,190	15.6	2,868	16.1	757	6.5	1,957	4.0	563	2.8
		鹿行地域	3,631	3.1	298	1.5	601	3.4	2,014	17.2	583	1.2	135	0.7
		県南地域	19,890	16.7	1,384	6.8	2,256	12.7	792	6.8	13,230	27.2	2,228	11.0
		県西地域	6,840	5.8	283	1.4	523	2.9	146	1.2	1,768	3.6	4,120	20.4
	超過数	県内計	△ 100	*	△ 1,321	*	636	*	△ 333	*	1,435	*	△ 517	*
		県北地域	1,225	*	△ 38	*	772	*	35	*	462	*	△ 6	*
		県央地域	△ 675	*	△ 776	*	△ 8	*	△ 147	*	289	*	△ 33	*
		鹿行地域	337	*	△ 31	*	152	*	5	*	202	*	9	*
		県南地域	△ 1,448	*	△ 485	*	△ 314	*	△ 212	*	30	*	△ 467	*
		県西地域	461	*	9	*	34	*	△ 14	*	452	*	△ 20	*
県外	転入者数	県外総数	61,308	55.4	8,198	45.9	7,942	46.2	6,716	64.8	27,784	58.3	10,668	61.0
		栃木県	3,375	3.1	332	1.9	420	2.4	95	0.9	800	1.7	1,728	9.9
		群馬県	1,045	0.9	135	0.8	177	1.0	55	0.5	424	0.9	254	1.5
		埼玉県	5,384	4.9	557	3.1	709	4.1	306	3.0	2,324	4.9	1,488	8.5
		千葉県	8,451	7.6	771	4.3	845	4.9	1,558	15.0	4,433	9.3	844	4.8
		東京都	9,779	8.8	1,305	7.3	1,605	9.3	852	8.2	4,822	10.1	1,195	6.8
		神奈川県	4,404	4.0	762	4.3	632	3.7	468	4.5	2,010	4.2	532	3.0
		その他の道府県	28,870	26.1	4,336	24.3	3,554	20.7	3,382	32.7	12,971	27.2	4,627	26.5
	転出者数	県外総数	69,395	58.4	9,432	46.2	9,171	51.6	7,734	66.1	30,213	62.1	12,845	63.6
		栃木県	3,826	3.2	367	1.8	452	2.5	143	1.2	790	1.6	2,074	10.3
		群馬県	1,295	1.1	182	0.9	222	1.2	87	0.7	481	1.0	323	1.6
		埼玉県	6,073	5.1	821	4.0	835	4.7	386	3.3	2,208	4.5	1,823	9.0
		千葉県	9,337	7.9	1,002	4.9	1,084	6.1	1,660	14.2	4,655	9.6	936	4.6
		東京都	12,219	10.3	1,886	9.2	1,968	11.1	915	7.8	5,867	12.1	1,583	7.8
		神奈川県	5,647	4.8	939	4.6	792	4.5	482	4.1	2,734	5.6	700	3.5
		その他の道府県	30,998	26.1	4,235	20.7	3,818	21.5	4,061	34.7	13,478	27.7	5,406	26.8
	超過数	県外総数	△ 8,087	*	△ 1,234	*	△ 1,229	*	△ 1,018	*	△ 2,429	*	△ 2,177	*
		栃木県	△ 451	*	△ 35	*	△ 32	*	△ 48	*	10	*	△ 346	*
群馬県		△ 250	*	△ 47	*	△ 45	*	△ 32	*	△ 57	*	△ 69	*	
埼玉県		△ 689	*	△ 264	*	△ 126	*	△ 80	*	116	*	△ 335	*	
千葉県		△ 886	*	△ 231	*	△ 239	*	△ 102	*	△ 222	*	△ 92	*	
東京都		△ 2,440	*	△ 581	*	△ 363	*	△ 63	*	△ 1,045	*	△ 388	*	
神奈川県		△ 1,243	*	△ 177	*	△ 160	*	△ 14	*	△ 724	*	△ 168	*	
その他の道府県		△ 2,128	*	101	*	△ 264	*	△ 679	*	△ 507	*	△ 779	*	

注1) 転入は表側から表頭への、また転出は表頭から表側への移動者数である。

2) 県内の転入者数及び転出者数は、各市町村ごとの転入者数及び転出者数を積み上げ、それを5地域別及び県全体で表したものである。

3) 超過数とは、以下の内容を意味するものである。

- ・表頭から表側に対しては、正の数は転入超過を表し、負の数は転出超過を表すものである。
- ・表側から表頭に対しては、正の数は転出超過を表し、負の数は転入超過を表すものである。

4) その他の県には国外を含む。

5) その他の移動者(従前の住所地なし、転出先不明等)数は含まない。

(4) 年齢別社会動態

平成23年中の県内における年齢別転入及び転出者数を5歳階級別に見ると、20歳～24歳(1,835人)及び25歳～29歳(1,775人)、30歳～34歳(1,689人)、35歳～39歳(1,128人)において転出超過が多くなっている。転出超過数を各歳別に見ると、23歳が1,053人の転出超過(転入4,764人、転出5,817人)と最も多く、次いで24歳が662人(転入4,219人、転出4,881人)、33歳が469人(転入3,164人、転出3,633人)となっている。(統計表第13表及び図-5)

地域別の社会増減数を5歳階級別に見ると、県北地域では20歳～24歳及び25～29歳、県央地域では20歳～24歳、鹿行地域では30歳～34歳、県南地域では25歳～29歳、県西地域では25歳～29歳及び30歳～34歳の転出超過が多くなっている。(図-6)

図5 年齢(5歳階級)別転入及び転出者数

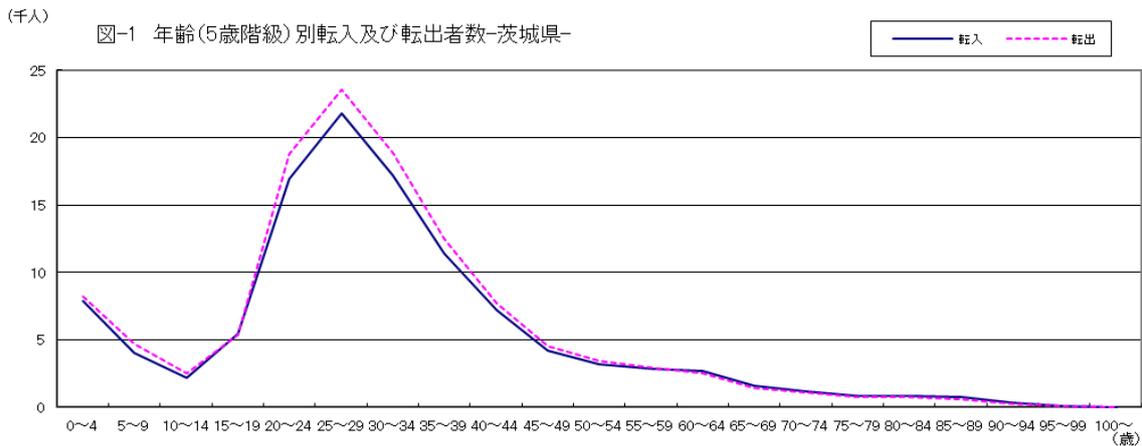
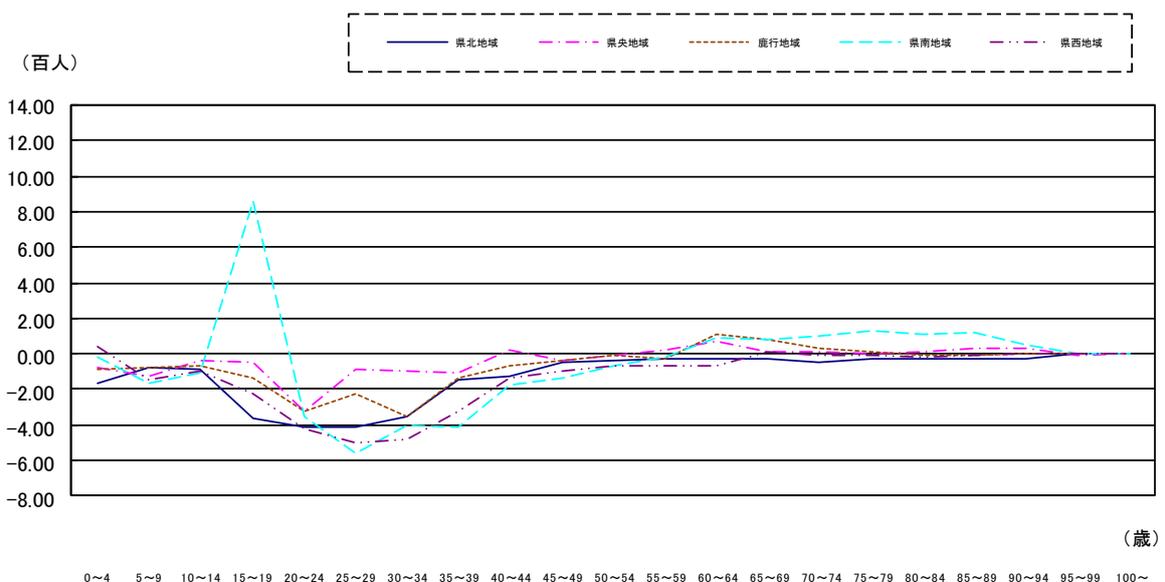


図6 地域及び年齢(5歳階級)別社会増減数(平成23年)



4 世帯数, 1世帯あたり人員

平成24年1月1日現在の世帯数は1,097,955世帯であり、平成23年中に7,768世帯増加し、増減率は0.71%となっている。(統計表第4表及び図-7)

1世帯あたり人員については、平成23年10月1日現在2.70人となっている。(統計表第1表)

図7 人口増減率及び世帯数増減率の推移

